

# さんじょう 市議会だより

三条市の  
今とこれからを  
一緒に  
みてみよう！

SANJO CITY COUNCIL NEWS No.59

2026  
2.1

今号の **PICK UP!**

## いい湯らていの指定管理者を巡り、 八十里越開通後を見据えた活発な議論が展開

P5 大綱質疑・質疑、P7 討論、P16 常任委員会審査レポートより



議会を傍聴しませんか？

次の定例会の  
開催予定は

**3/2月**～

市議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。

電話：0256-34-5583 FAX：0256-33-8861

メール：gikaij@city.sanjo.niigata.jp

【今号の主な内容】

令和7年(2025年)12月定例会  
(12月1日～15日)

●議案賛否一覧…………… P2

《市政を問う》

●大綱質疑・質疑…………… P5

●討論…………… P6

●一般質問…………… P7

●常任委員会審査レポート…………… P15

インターネットでも情報発信中！

三条市議会

検索



議案賛否一覧					○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対					
議案					会派名 (下段は所属議員数)					
区分	番 号	件 名	概 要	審査した 委員会	清 風 会	自 由 ク ラ ブ	日 本 共 産 党 議 員 団	公 明 党 議 員 団	無 所 属	議 決 結 果
その他	議第14号	三条市老人福祉センター栄寿荘の指定管理者の指定について	三条市老人福祉センター栄寿荘の指定管理者として、社会福祉法人さかえ福祉会を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第15号	三条市大崎会館及び三条市大崎会館分館の指定管理者の指定について	三条市大崎会館および三条市大崎会館分館の指定管理者として、大崎会館管理運営協議会を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第16号	三条市職業訓練施設の指定管理者の指定について	三条市職業訓練施設の指定管理者として、職業訓練法人三条職業訓練協会を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第17号	八木ヶ鼻温泉保養交流施設の指定管理者の指定について	八木ヶ鼻温泉保養交流施設の指定管理者として、株式会社下田郷開発を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和10年3月31日まで	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	×	原案 可決
	議第18号	八木ヶ鼻オートキャンプ場の指定管理者の指定について	八木ヶ鼻オートキャンプ場の指定管理者として、八木ヶ鼻オートキャンプ場管理組合を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第19号	塩野洲多目的集会所施設の指定管理者の指定について	塩野洲多目的集会所施設の指定管理者として、塩野洲多目的集会所施設管理組合を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第20号	三条市保内地区交流拠点施設の指定管理者の指定について	三条市保内地区交流拠点施設の指定管理者として、株式会社テレコムベシス指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第21号	三条市農業体験学習施設の指定管理者の指定について	三条市農業体験学習施設の指定管理者として、よつげ邸管理組合を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第22号	労働安全衛生推進施設の指定管理者の指定について	労働安全衛生推進施設の指定管理者として、労働安全衛生推進施設利用組合を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第23号	とたにコミュニティセンターの指定管理者の指定について	とたにコミュニティセンターの指定管理者として、とたにコミュニティセンター管理組合を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第24号	曲谷多目的研修交流施設の指定管理者の指定について	曲谷多目的研修交流施設の指定管理者として、曲谷多目的研修交流施設管理組合を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第25号	名下多目的集会所施設の指定管理者の指定について	名下多目的集会所施設の指定管理者として、地縁団体名下を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第26号	保内公園の指定管理者の指定について	保内公園の指定管理者として、保内緑の里管理組合を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第27号	中浦ヒメサユリ森林公園の指定管理者の指定について	中浦ヒメサユリ森林公園の指定管理者として、中浦ヒメサユリ森林公園管理組合を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第28号	三条市立図書館、三条市歴史民俗産業資料館及び三条市諸橋博士漢学の里の指定管理者の指定について	三条市立図書館、三条市歴史民俗産業資料館および三条市諸橋博士漢学の里の指定管理者として、ツクール・ド・さんじょうを指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第29号	三条市グリーンスポーツセンター及び大崎山公園の指定管理者の指定について	三条市グリーンスポーツセンターおよび大崎山公園の指定管理者として、さんじょう自然学校を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第30号	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	採用試験および昇任試験に関する事務を共同処理する構成団体から村上市および南魚沼市が脱退することに伴い、新潟県市町村総合事務組合規約を変更するもの 施行期日:令和8年4月1日	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第31号	市道路線の認定について	認定路線 2路線 延長 260.6m	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第32号	長岡市及び三条市における公の施設の相互利用に関する協定の一部変更について	平成29年3月30日付けで長岡市と三条市との間に締結した公の施設の相互利用に関する協定の対象施設について、長岡市と板地域交流拠点施設が新たに設置されることから、協定の一部を変更するもの	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第33号	三条市総合運動公園市民球場スコアボード改修工事請負契約の締結について	工事内容 設計、施工および監理業務 市民球場スコアボード撤去および改修工事一式 フルカラーLEDパネル設置ほか 電気工事一式 電気通信工事一式 2億5,575万円 契約金額 契約者 パナソニックEWエンジニアリング株式会社東京本部	市民福祉 常任委員会	○	○	×	○	○	同意
予算	議第34号	令和7年度三条市一般会計補正予算	給与改定および人事異動等に伴う職員人件費の調整のほか、ふるさと三条応援寄附金の増加に伴う報償品購入費等の増額や藤平工業団地の法(のり)面崩落防止対策の検討に係る調査経費などについて、必要な予算措置を行うもの 補正額 32億6,651万円 補正後の額 564億3,038万2,000円	総務文教 常任委員会 市民福祉 常任委員会 経済建設 常任委員会	○	○	×	○	○	原案 可決

12月  
定例会

令和7年(2025年)

12月定例会は、12月1日から15日までの15日間にわたって開かれました。

市長提出議案は、「人権擁護委員候補者の推薦」の人事案件、「三条市職員の旅費に関する条例の制定」などの条例案件、三条市総合福祉センターなどの「指定管理者の指定」、ふるさと三条応援寄附金の増加に伴う報償品購入費等の増額や藤平工業団地の法面崩落防止対策の検討に係る調査経費などを盛り込んだ「令和7年度三条市一般会計補正予算」約32億6600万円など40件が上程されました。

これらの議案は、各常任委員会での審査などを経て、採決の結果すべて原案の通り可決または同意しました。

議員発案では、「1級市道大浦山手線(道心坂区間の整備促進を求める決議)」を原案の通り可決し、「三条市議会議員定数条例の一部改正」を否決しました。

また、請願の採択に伴い、国会や関係行政庁へ意見書を提出することになりました。

議案賛否一覧					○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対					
議案					会派名 (下段は所属議員数)					
区分	番 号	件 名	概 要	審査した 委員会	清 風 会	自 由 ク ラ ブ	日 本 共 産 党 議 員 団	公 明 党 議 員 団	無 所 属	議 決 結 果
条例	(市長提出)									
	議第1号	三条市職員の旅費に関する条例の制定について	国家公務員等の旅費に関する法律の一部改正に伴い、本市の旅費制度においても国の取り扱いを踏まえた見直しを行うため、本条例の全部改正を行うもの 施行期日:令和8年4月1日	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第2号	三条市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	子ども・子育て支援法等の一部改正により、乳児等通園支援事業が創設され、新たな通園給付として全国の自治体で実施されることから、同事業の設備および運営に関する基準を定めるため、本条例を制定するもの 施行期日:令和8年4月1日	総務文教 常任委員会	○	○	×	○	○	原案 可決
	議第3号	三条市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	本市の旅費制度における国の取り扱いを踏まえた見直しならびに令和7年8月7日の人事院勧告および同年10月10日の新潟県人事委員会勧告の内容を考慮し、議会議員の費用弁償および期末手当について、必要な改正を行うもの 施行期日:公布の日等	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第4号	三条市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	本市の旅費制度における国の取り扱いを踏まえた見直しの内容等を考慮し、特別職の職員で非常勤のものに支給する報酬および費用弁償について、必要な改正を行うもの 施行期日:令和8年4月1日	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第5号	三条市実費弁償条例の一部改正について	本市の旅費制度における国の取り扱いを踏まえた見直しの内容等を考慮し、本市議会に出頭した者等に支給する実費弁償について、必要な改正を行うもの 施行期日:令和8年4月1日	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第6号	三条市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	令和7年8月7日の人事院勧告および同年10月10日の新潟県人事委員会勧告の内容を考慮し、特別職および一般職の職員の給与等について、必要な改正を行うもの 施行期日:公布の日等	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第7号	三条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準等の一部改正に伴い、本市においてもこれに準じ、必要な改正を行うもの 施行期日:公布の日	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準等の一部改正に伴い、本市においてもこれに準じ、必要な改正を行うもの 施行期日:公布の日	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第8号	三条鍛冶道場条例の一部改正について	三条鍛冶道場で行うものづくり体験研修について、体験内容の拡充により地場産業の魅力発信および活性化につなげるため、利用料金の上限額を見直すことなどから、必要な改正を行うもの 施行期日:令和8年4月1日	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第9号	三条市森林等における火入れに関する条例の一部改正について	本市の林野火災の予防対策において、林野火災注意報の発令を可能とする見直しを行うことを踏まえ、火入れの中止に関する規定について、必要な改正を行うもの 施行期日:令和8年1月1日	経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第10号	三条市諸橋徹次博士奨学金条例の一部改正について	近年の海外留学志望者の動向を踏まえ、海外留学奨学金の年齢要件を拡充するため、必要な改正を行うもの 施行期日:令和8年4月1日	総務文教 常任委員会	○	○	×	○	○	原案 可決
	議第11号	三条市火災予防条例の一部改正について	本年2月に発生した大船渡市林野火災を受け、消防庁から林野火災注意報および林野火災警報の的確な発令等の必要性が示されたこと、また、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令が一部改正されたことから、本市においてもこれに準じ、必要な改正を行うもの 施行期日:令和8年1月1日等	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
その他	議第12号	三条市総合福祉センターの指定管理者の指定について	三条市総合福祉センターの指定管理者として、社会福祉法人三条市社会福祉協議会を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第13号	すまいるランド及びあそぼっての指定管理者の指定について	すまいるランドおよびあそぼっての指定管理者として、三条おやこ劇場特定共同企業体を指定するもの 指定の期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで	総務文教 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決



**A** 一時預かり事業が保護者の立場からの必要性に対応するものである

**Q** 市では一時預かり制度を運用している。どのようにつみ分け、共存させていくのか。

**2 議第**  
**三** 条 市 乳 児 等 通 園 支 援 事 業 の 設 備 及 び 運 営 に 関 す る 基 準 を 定 め る 条 例 の 制 定 に つ い て

**A** 旅費はどのようにしていくのか。上限付き実費支給方式となる。実際の行程に即した実費の支給となるため、宿泊費のほか交通費や当日の見直しなども行うことから、旅行先や移動経路によって支給額が変動する。旅費の支給が多くなる場合もあれば少なくなる場合もあると捉えている。

**Q** 条例制定により、三条市の職員の旅費はどのようにしていくのか。上限付き実費支給方式となる。実際の行程に即した実費の支給となるため、宿泊費のほか交通費や当日の見直しなども行うことから、旅行先や移動経路によって支給額が変動する。旅費の支給が多くなる場合もあれば少なくなる場合もあると捉えている。

**1 議第**  
**三** 条 市 職 員 の 旅 費 に 関 す る 条 例 の 制 定 に つ い て

**大綱質疑・質疑**  
12月定例会では3会派が大綱質疑、1人が質疑を行いました。

**A** 対象乳幼児は、生後6カ月から満3歳未満までの未就園児。保護者の就労等の条件はない。利用料は1時間300円、利用可能時間は月10時間である。

**Q** 来年度全国の自治体で始まる、いわゆる子ども誰でも通園制度の条例制定だが、利用できる子どもとその保護者の条件、利用料と利用時間はどうか。

**A** 大学生等奨学金では他の団体の併給を認めないのに、海外留学奨学金では併給を認めるのか。

**10 議第**  
**三** 条 市 諸 橋 轍 次 博 士 奨 学 金 条 例 の 一 部 改 正 に つ い て

**A** 給付型である本奨学金は、留学先での住まい探しや、入学手続き等のための渡航費用など、準備費用も助成するため、他の団体や機関の併給を認めている。

**Q** 三 条 市 諸 橋 轍 次 博 士 奨 学 金 条 例 の 一 部 改 正 に つ い て

**A** 対象乳幼児は、生後6カ月から満3歳未満までの未就園児。保護者の就労等の条件はない。利用料は1時間300円、利用可能時間は月10時間である。

**A** 道の駅漢学の里したただの機能をいい湯らていに移転してのリニューアル、指定管理の一本化を検討しているため、同道の駅の指定管理期間と終期を合わせて2年間とした。

**Q** いい湯らていのリニューアル事業については、令和7年12月に補正予算の提出、令和8年にプロポーザルと基本設計、令和9年に実施設計と工事着手、令和10年に工事完了とオープンとのスケジュールが示されていた。しかし、今定例会に補正予算の提出はなく、いまだにサウディング型市場調査を実施しているの、だいぶ遅れていると思われる。そのような状況で指定管理期間を2年間とした理由、また今後のスケジュールについて伺う。

**17 議第**  
**八** 木 ヶ 鼻 温 泉 保 養 交 流 施 設 の 指 定 管 理 者 の 指 定 に つ い て

**Q** 持続可能な指定管理者制度にしていくためには、賃金スライド等の対策が必要ではないか。

**A** 昨今の賃金上昇の状況等を踏まえ、と、当市においても検討が必要なものと考えている。他市の状況も注視していく。

**12 議第**  
**指** 定 管 理 者 の 指 定 に つ い て

**Q** 当初予算で市民球場スコアボード改修事業は出ていたが、メインスコアボードのフルカラーLEDパネル表示など、過大ではと思える仕様になっている。この仕様になった理由は何か。

**A** 現在の市民球場のスコアボードは、磁気反転方式で、部品の製造が中止となり、故障時にメーカーの対応ができない。現在はLED方式が主流であることから、選択した。一般的な年間のランニングコストは、電気料20万円程度、保守管理費用100万円程度と試算している。

**Q** ふるさと三条応援寄附金について、令和7年10月からふるさと納税

**34 議第**  
**令** 和 7 年 度 三 条 市 一 般 会 計 補 正 予 算

**Q** 当初予算で市民球場スコアボード改修事業は出ていたが、メインスコアボードのフルカラーLEDパネル表示など、過大ではと思える仕様になっている。この仕様になった理由は何か。

**A** 現在の市民球場のスコアボードは、磁気反転方式で、部品の製造が中止となり、故障時にメーカーの対応ができない。現在はLED方式が主流であることから、選択した。一般的な年間のランニングコストは、電気料20万円程度、保守管理費用100万円程度と試算している。

**33 議第**  
**三** 条 市 総 合 運 動 公 園 市 民 球 場 ス コ ア ボ ー ド 改 修 工 事 請 負 契 約 の 締 結 に つ い て

スケジュールについては、7月のサウディング型市場調査を踏まえた基本計画素案の一部変更および国の補助金の申請時期等に鑑み、予算の提出時期を修正した。

それに伴い、プロポーザルは若干遅れるが、設計、施工等は以前から変更はない。

議 案 賛 否 一 覧					○：議案に対して賛成    ×：議案に対して反対					
議 案				会 派 名 (下段は所属議員数)	清 風 会	自 由 ク ラ ブ	日 本 共 産 党 議 員 団	公 明 党 議 員 団	無 所 属	議 決 結 果
区 分	番 号	件 名	概 要	審査した 委員会	9	7	3	2	1	果
予 算	議第35号	令和7年度三条市国民健康 保険事業特別会計補正予算	国の補助金を活用し子ども・子育て支援金徴収のためのシステム改修を行うほか、人事院勧告等を考慮した給与改定等に伴う職員人件費の調整、令和5年度および6年度の療養給付実績等による県交付金の償還金、令和6年度決算に伴う剰余金等の国民健康保険事業財政調整基金への積立金を措置するもの 補正額                    4,834万3,000円 補正後の額            80億5,484万3,000円	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第36号	令和7年度三条市後期高齢 者医療特別会計補正予算	国の補助金を活用し、令和8年4月から始まる子ども・子育て支援金の徴収に対応するため、システム改修を行うもの 補正額                    439万7,000円 補正後の額            15億730万9,000円	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第37号	令和7年度三条市介護保険 事業特別会計補正予算	国の補助金を活用し、令和7年度の税制改正および年金額改定に伴う介護保険料の算定等に対応するため、システム改修を行うもの 補正額                    215万6,000円 補正後の額            109億2,981万8,000円	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第38号	令和7年度三条市一般会計 補正予算	市民栄誉賞表彰の被表彰者に報償金を贈呈するほか、生活圏に出没する熊の捕獲に要する経費や熊対策に係るスクールバスの臨時運行期間の延長に要する経費について、必要な予算措置を行うもの 補正額                    2,102万8,000円 補正後の額            564億5,141万円	総務文教 常任委員会 経済建設 常任委員会	○	○	○	○	○	原案 可決
	議第39号	令和7年度三条市一般会計 補正予算	県の補助金を活用して行う生活困窮世帯に対する灯油購入費の助成に要する経費について、必要な予算措置を行うもの 補正額                    4,523万3,000円 補正後の額            564億9,664万3,000円		○	○	○	○	○	原案 可決
人 事	諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員西山厚子さん、原泰雄さん、郷睦美さん、後藤美智子さんおよび島田聖一さんは、令和8年3月31日に任期満了することとなるので、その後任委員候補者として西山厚子さん、原泰雄さん、後藤美智子さん、島田聖一さんおよび渡辺健さんを推薦するもの 任期：3年		○	○	○	○	○	同意
〔議員発案〕										
決 議	議員発案 第1号	*1 級市道大浦山手線（道心坂区間）の整備促進を求める決議	1級市道大浦山手線（道心坂区間）の整備促進を求めるため決議するもの		○	○	○	○	○	原案 可決
条 例	議員発案 第2号	三条市議会議員定数条例の一部改正について	本市議会の議員定数を22人から21人に改め、次の一般選挙から施行するもの		投票採決 （無記名投票） 賛成：9票 反対：12票					否決
意 見 書	議員発案 第3号	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書の提出について	新たな救済制度を確立するとともに、阿賀野川流域住民の健康被害調査を早急に実施するよう、被害者団体と協議することを要望する意見書を提出するもの 提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、環境大臣		○	○	○	○	○	原案 可決
	議員発案 第4号	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の支給額改善と年金の毎月支給を求める意見書の提出について	高齢基礎年金等の支給額を早急に改善するとともに、年金の支給を隔月から毎月に変更するよう要望する意見書を提出するもの 提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣		○	○	○	○	○	原案 可決
〔請 願〕										
請 願	請 願 第16号	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組に関する請願	新たな救済制度を確立するとともに、阿賀野川流域住民の健康被害調査を早急に実施するよう、被害者団体と協議することを要望する意見書の提出を求めるもの	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	採択
	請 願 第17号	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の支給額改善を求める請願	高齢基礎年金等の支給額を早急に改善するとともに、年金の支給を隔月から毎月に変更するよう要望する意見書の提出を求めるもの	市民福祉 常任委員会	○	○	○	○	○	採択



会 派 所 属 議 員				※○：会派の代表者		
清 風 会	○西川重則 酒井 健 岡本康佑	山田富義 馬場博文 西村邦明	岡田竜一 白鳥 賢 竹山嘉一			
自 由 ク ラ ブ	○阿部銀次郎 森山 昭 内山信一	佐藤和雄 野寄久雄	武石栄二 藤家貴之			
日 本 共 産 党 議 員 団	○小林 誠	坂井良永	武藤元美			
公 明 党 議 員 団	○燕 幸男	笹川信子				
無 所 属	長橋一弘					



税の仲介サイトによるポイント付与が禁止された影響はあるか。

**A** 寄附額の前年同期比は、9月末が237.5%で、駆け込み需要により大幅に増加した。一方、11月末が153%で、マイナスの反動があった。

議第38号  
令和7年度  
三条市一般会計補正予算

**Q** 総務費の報償金50万円について、東京2025デフリンピックにバレーボール女子日本代表として出場した高橋朋伽選手に三条市民栄誉賞を贈るとのことだが、報償を50万円とした理由を伺う。

**A** 令和3年度に初めて三条市民栄誉賞を贈った際に、名誉市民への報償が100万円程度であったことを参考に、市民栄誉賞の報償を50万円としたところであり、今回も同様に50万円とした。

**Q** 教育費のスクールバス運行委託料1892万8000円については、熊の出没に伴い、安全確保のために乗車する児童生徒が増加したことなどを受けての補正である。

スクールバスについては、保安基準が一部改正され、それまで除外されていた補助席にもシートベルトの設置が義務化された。補助席にシートベルトがない

応援することが主な目的で、一時預かり事業とは明確な違いがある。実施が必要な制度のため、賛成すべきである。

議第10号 三条市諸橋轍次博士奨学金条例の一部改正について  
【賛成】

具体の相談を受ける中、社会人の学び直しのための留学といったニーズに応え、挑戦する人を後押しするという観点から、年齢要件を拡充するものがある。人材育成という本奨学金の目的にかなうことから、賛成すべきである。

議第17号 八木ヶ鼻温泉保養交流施設の指定管理者の指定について  
【賛成】

いい湯らていは、市民に福利厚生や健康増進の場を提供する公共施設である。  
株式会社下田郷開発は、長年にわたる良好かつ適切な施設の管理、運営を行ってきた。また、温浴施設を管理するノウハウを有しており、昨今の厳しい経営環境の中で懸命にコスト削減、集客努力を続けてきた。

八十里越の開通を見据え、今後は地域の観光交流拠点としての役割も期待されており、株式会社下田郷開発を引き続き指定管理者として指定することに賛成すべきである。

場合、改正前に登録された車両は例外として運行が認められているものの、衝突事故や急ブレーキなどの際に子どもが前方に飛び出してしまいう危険があり、安全性への不安が残る。

スクールバスとして運行する車両は、新基準に適合しているのか伺う。

**A** 今回の熊対策に係るスクールバスの運行においては、10人弱にシートベルトがない補助席を充てる必要がある。緊急的な状況下であり、より一層の安全な運行に努める。

議第39号  
令和7年度  
三条市一般会計補正予算

**Q** 生活困窮世帯灯油購入費助成金3750万円について、昨年度も同様の助成金として3313万円が執行されている。物価高騰による生活困窮世帯数の増減についての見解を伺う。

また、業務システム開発等委託料540万円が計上されているが、昨年度も業務システム開発等委託料として876万1395円が執行されている。昨年度と同様の事業であるが、これは毎回必要なのか、どのような内容なのかを伺う。

**A** 生活困窮世帯灯油購入費助成金の対象世帯数は、令和3年度が6572世帯、令和4年度が6844世帯、令和5年度が7050世帯、令和

議第33号 三条市総合運動公園市民球場スコアボード改修工事請負契約の締結について

議第34号 令和7年度三条市一般会計補正予算  
【賛成】

各議案の基となる債務負担行為は、令和7年度当初予算において議決済みである。契約額も予算に比べて安価となっており、賛成すべきである。

討論

無 所 属

議第17号 八木ヶ鼻温泉保養交流施設の指定管理者の指定について  
【反対】

結論。2年間とはいえ、株式会社下田郷開発に管理運営を延長で委託することは常軌を逸している。「マンネリ、惰性、策なし」とのそりは免れない。

三条市は、合併後の20年間、株式会社下田郷開発に八木ヶ鼻温泉保養交流施設の管理運営を委託してきた。しかし、令和4年度以降の財務面のマイナスだけでも、公共施設運営協力金、経営支援金の名目による赤字補填額が毎年3000〜4000万円、4年間で約1億2000万円になる。また、露天風呂、サウナ、ペレットボイラー等の設備投資も累計で億に届く額である。  
施設の設置目的は、「市民に福利厚

6年度が7141世帯で、近年増加の傾向にある。

また、業務システム開発等委託料は、基準日で指定した対象データごとに業務システムを開発するため、事業を実施するたびに必要となる。内容は、対象データを保存するためのデータベース、検索・照会用画面の作成のほか、データの取り込みや一括処理などの作業を行うもの。

討論  
TOURON  
議案に対して  
意見を主張します。

討論

日本共産党議員団

議第2号 三条市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について  
【反対】

こども誰でも通園制度は、保護者の就労を要件とせず、生後6カ月から3歳までの子どもが1時間単位で利用でき、月10時間が上限だ。慣れない子どもは、泣き続け、それで時間をすべて使い切る可能性がある。これでは子どもの育ちを応援することにはならない。保育士の配置基準も緩和され、安定した

生及び健康増進の場を提供することとされている。10年前、20年前であれば通用するが、今は時代環境が大きく変わっている。再三の指摘事項だが、三条市が第三セクターとして運営する時代はとうの昔に終わったということである。抜本的な改革をしない限り、三条市のお荷物的存在の状態はこのまま続く。  
★サウンディング型市場調査の結果を待ち、新しいスタートを切るとのいちらの望みはあるが、不安は付きまとう。  
以上の理由で反対する。

サウンディング型市場調査  
一般質問  
12月定例会

酒井健 議員の質問

柏崎刈羽原発再稼働

**Q** 新潟県知事の再稼働容認への見解と今後の対応を伺う。

**A** 知事の判断を尊重。避難道路の確保と除雪体制の強化等の申し入れ、三条市原子力防災ガイドの更新が必要。

保育にも、安全性の確保にも不安があるため反対。

議第10号 三条市諸橋轍次博士奨学金条例の一部改正について  
【反対】

海外留学に対しては、既に日本学生支援機構の海外留学支援制度等がある。それらとの重複受給が可能な上、給付型であることは優遇しすぎと考え反対。

議第33号 三条市総合運動公園市民球場スコアボード改修工事請負契約の締結について

議第34号 令和7年度三条市一般会計補正予算

【反対】

建設から30年が経過した市民球場の老朽化対策は必要であるが、改修工事の契約金額が2億5575万円というのは高額過ぎると考え反対。

討論

清 風 会

議第2号 三条市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について  
【賛成】

家庭にいるだけでは得られないさまざまな経験を通じて、子どもの育ちを

副市長について

**Q** 空席の理由と選任について伺う。

**A** 重要な職であり早期に示したい。

八十里越開通

**Q** いい湯らてい等のリニューアルについて伺う。

**A** 市場調査の申し込み9件、開通までの完了を目標としない。

**Q** 6号盛土の整備状況を伺う。

**A** 暫定開通までの完了を目指し国、県と協議している。

**Q** ダムの活用を伺う。

**A** 県所管の施設であるため、活用の可能性を情報収集する。

清掃センター

**Q** 前回火災後の対策の評価と有害ごみ収集について伺う。

**A** 設置した排煙窓により煙を速やかに排除できた。今後リチウムイオン電池発火に対応する設備改修を検討。収集日増は考えていない。

熊対策



**Q** 現状と対策を伺う。

**A** 駆除頭数は2日現在で22頭、対応をマニュアル化している。**★ガバメントハンター**導入は検討するが、基本的には猟友会と協力し対策を講じる。

### 米価高騰対策

**Q** 米価に対する認識を伺う。

**A** 生産者的にはコストを含め消費者離れを招かない価格が望ましい。中山間地域は生産原価が高いため、相場より高い価格設定が望ましい。



山間地の稲刈り状況

**武藤 元美 議員の質問**

小中学校で、給食の無償化を

**Q** 国は、来年度から小学校限定で学校給食無償化の実施を決めた。育ち盛りの中学校についても、市として無償化を進めてはどうか。

**A** 給食費の無償化には中学校分で約2億円が必要。市単独で給食費無償化は考えていない。

**Q** 国に対し、給食の質の担保と、物価高騰分の財政負担を自治体に求めないことを「義務教育は無償」と国に要望してはどうか。

**A** **★ナショナルミニマム**として国が措置すべきであり、要望していく。

### 地域医療再編後の医療体制について

**Q** 県央の医療再編で、郊外の済生会新潟県央基幹病院に救急搬送後、入院不要の場合は自力での帰宅が必要だ。運転手不足もあるが、タクシーがつかまらないことで帰宅困難とならない方策を講ずるべきだ。

**A** 帰宅の手段等については、夜間も含め、基本的には各医療機関で対応するべきことだ。

### 個人の尊厳を守る終活支援について

**Q** 単身世帯、高齢者のみの世帯が増

### 熊対策の強化について

**Q** 人間の生活圏と熊の生息域が同じになってきているのではないか。三条市でも対策が待ったなしで必要だと思ふ。また、市職員で狩猟組織をつくることは可能かどうか。見解を伺う。

**A** 捕獲による個体数管理と緩衝帯整備等を総合的に進めていくことが重要と考えている。**★ガバメントハンター**は市の鳥獣対策全体の中で検討したい。

**内山 信一 議員の質問**

### 高齢者の孤独、孤立について

**Q** 高齢者の実態把握および孤立防止対策はどのように実施しているか。また、高齢者への接し方などに関する講座を開催してはどうか。

**A** 高齢者の実態把握については、民生委員等が行っており、孤立防止対策については、高齢者見守り事業や介護予防教室を実施している。講座については、認知症サポーター養成講座等を実施している。

### 柏崎刈羽原発再稼働容認について

**Q** 地元紙の報道で、原発技術者有志

が、「柏崎刈羽原発6号機は構造的欠陥があり、再稼働させてはならないと県に要望した」とあったことについて、また再稼働となった場合の市民への対応について伺う。

**A** 要望書は県に提出されたもので、詳細を把握していないため市としての見解は差し控える。三条市原子力防災ガイドを全世帯に配布し、必要な情報を事前に周知している。

**岡田 竜一 議員の質問**

### 歴史民俗産業資料館および別館のさらなる有効活用について

**Q** 三条市は、古くから**★文人墨客**輩出してきた町であり、市内には多くの芸術文化愛好者がいる。こうした市民の皆さまから、日頃の活動の発表の場として積極的に活用いただくことで、より両施設の価値が上がり、市民に親しまれる施設になる。歴史民俗産業資料館「れきみん」と別館「ほまれあ」の展示スペースをより使いやすい形で市民に提供すべきと思うが、市の見解を問う。

**A** 必要に応じて展示に対するアドバイスなどをしていく。

えている。安心して最期を迎えられる仕組みを市として考える必要がある。他市では、「エンディング・サポート事業」、生前に終活関連情報を市に登録する「終活登録事業」を始めている。市も取り組んではどうか。

**A** 終活関連情報の登録や提供の仕組みなど関係者と研究したい。

**燕 幸男 議員の質問**

### 浄化槽と下水道の現状と課題について

**Q** 国は、人口密度の低い、家屋の少ない周辺部では合併処理浄化槽への転換を含め、地域特性に応じた選択を行えるよう支援していくと発表している。市は汚水処理計画を策定する際、災害などの課題に対応した持続可能な汚水処理行政を考えてはどうか。

**A** 平成29年2月に汚水処理施設整備構想を策定。地域ごとに下水道等による集合処理と合併浄化槽による個別処理のいずれが経済的であるか検討し、区域を改めて設定した。策定から10年が経過する令和9年度には中間評価を実施する予定である。

### 熊対策について

### 三条市に対する住民訴訟について

**Q** 以下の内容に対してどう思うか。  
・3人の裁判官の合議にて原告側要求の3人の証人尋問が決定したことについて

・陳述書によると、当案件を三条市は民間企業からの提案を受けた「一方ワンテーブルは三条市からお声掛けを頂いた」とあることについて

・三条市はオリンピック・パラリンピック首長連合を通じてワンテーブルの存在や事業内容を知った、とあるが、コンサルタントの島田氏や事務局の樋渡氏からの働き掛けや首長連合会長だった國定氏の意向について

・ワンテーブルには既に都内等でヘルスツーリズム事業の実績があること、三条市が本事業の委託事業者に求める要件を満たす事業者が他に確認できなかった、とあることについて  
・ワンテーブルに責任はなく委託先のコレにあるとの認識について  
・決算が認定されればあらゆる異議申し立ては不可ともいえる認識について

**長橋 一弘 議員の質問**

ど、身近に芸術に触れる機会の創出を幅広く検討していく。

**Q** 出没が12月2日現在で過去最多の138件確認された。人身被害防止の対策はどうか。

**A** 通学バスの運行範囲の拡充、防災行政無線放送やメール、SNSでの出没情報の発信、不要果実の受け入れ、出没誘引物の除去推進や捕獲の強化に取り組んでいる。

### ★RSウイルス感染症について

**Q** 乳幼児と高齢者が感染し重症化すると肺炎を引き起こす。予防するワクチンは任意接種で全額自己負担。子育て世帯や高齢者に対して接種費用を補助してはどうか。

**A** 国は、母子免疫ワクチンの定期接種化を令和8年度から実施する方針で検討。高齢者への助成は予定していないが、国の動向を注視していく。



RSウイルス感染症に注意しましょう  
(厚生労働省ホームページより)



て

- ・三条市の監査について
- ・ワンテーブルが三条市には損害が発生していないと認識していることについて

・原告が三条市やワンテーブルをおとしめる目的があるのではないかと推測せざるを得ない行為を繰り返している」と陳述していることについて

**A** いずれも「係争中のため答弁は控える」。



白鳥賢 議員の質問

令和7年5月10日発生の本寺小路火災現場検証結果について

**Q** 全焼5棟を含む全10棟に被害が出た火災。出火原因と消火活動の解説を求む。

**A** 原因…火元店厨房内の天ぷら鍋のかけ忘れと判定。

経過…火災消火済みとの通報だったため、確認調査のための警防出動。指揮車1台、消防ポンプ車1台が通報から12分後に到着。火元建物に避難の呼び掛け。現場確認中に換気口から火炎噴出を確認。直ちに火災出動。車両合計20台、延べ66名が活動。周辺消防団も追加出動を指令し、積載車8台、合計71名出動。はしご車は、多くの架空電線が存在

三条市の人口と世帯		
12月末日現在	前月との比較増減数	
男 43793人	-36人	
女 46033人	-39人	
総数 89826人	-75人	
世帯数 37406世帯	-18世帯	

三条市の人口と世帯数

改正空き家法の施行について

**Q** この法律の施行後の三条市の現状と課題についてどのように考えているのか。

**A** 空き家に対する所有者の意識が高まり、空き家の除却や流通促進に一定の効果があったと捉えている。制度活用の中で市負担費用の回収や所有者不明物件の解消につなげていきたい。



坂井良永 議員の質問

地球温暖化対策

**Q** 脱炭素社会に向けて2050年ゼロカーボンシティを宣言すべきだ。

する現場で出動不可と判断。

このたびの消火活動は、進入困難な延焼箇所であり、折り重なるがれきに阻まれての活動で鎮火までに時間を要したが、職団員に2名の負傷者が出たことを除けば適切であった。

**Q** 延焼被害を踏まえ、今後テナントにも延焼特約の付いた火災保険加入を促せないか。

**A** 検討する。

まちづくりビジョンの必要性について

**Q** 三条市の目指す姿を分かりやすいビジョンとして市民と共に作り上げることが必要ではないか。

**A** 総合計画の基本構想を基に、注力分野を年度ごとにお品書きで示し市民理解に努めている。経済ビジョンや未来の学校検討委員会等のような形で市民と協働していく。



西川重則 議員の質問

令和8年度予算編成について

**Q** 市長2期目、2回目の来年度予算編成に当たり、経常収支比率が98.6%と財政の硬直化の指摘もある中、待望久しかった八十里越の開通、下田

**A** 二酸化炭素排出量ゼロに向けた取り組みは、宣言ありきではなく、具体的に何をすることが大切だ。検討はしたい。

**Q** 中小製造業者の脱炭素経営の推進を支援している。取り組みの現状はどうか。

**A** 工場等遮熱断熱促進補助金と三条市脱炭素経営促進事業に対し支援を実施した。

**Q** 太陽光発電設備設置に対し支援すべきだ。

**A** 一人ひとりが電気料金の削減効果や設置費用を勘案して検討するものである。



地球温暖化対策を

農業施策

**Q** 主食の米は市場経済に任せるのではなく、消費者には買いやすい価格、生産者には再生産できる価格が求められる。所得補償・価格保障を国に求めるべきだ。

**A** 国に求めることは現段階では考えていない。

地域の百年の大計とも言える教育問題、須頃地区の目を見張るような発展と開発などに対して、三条市を前に進めるため、県央のトップリーダーとしての基本方針なり抱負はどうか。

**A** 経常的経費の増加、市税収入の見えていない。質問の内容に加えて、子育て教育環境の充実など、選びたくなくなるまち三条の実現に向けた必要な取り組みを進めるため熟慮を重ね予算編成に臨んでいきたい。

三条市都市計画マスタープランについて

**Q** 現在策定中のマスタープランの事業化について、都市計画道路下須頃上須頃線、市道上須頃262号線の整備が進んでいる中、須頃地区では、農地の宅地化が進み、農地が減少し、排水路は都市排水による流速の変化など、施設の維持管理に困難が生じている。対応はどうか。

**A** 指摘のとおり、須頃地区においては、開発により農業用排水路に宅地排水が流入するなど変化が生じている箇所もある。また、市内全体から整備の要望があることから、状況を踏まえて必要に応じ整備を進めていきたい。

**Q** 米は年1回しか取れないし、天候もあり、技術習得には年数がかかる。親元就農に対して支援すべきだ。

**A** 県や関係機関と連携し、より効果的な支援策を検討する。



米の所得補償・価格保障を

中小企業支援

**Q** 消費税インボイス制度の中小企業特例措置が縮小廃止される。国に延長を求めるべきだ。

**A** 三条商工会議所等と連携して適切に対応したい。

**Q** 中小企業に賃上げ支援金を実施すべきだ。

**A** 現時点で支援金は考えていない。



馬場博文 議員の質問

電子投票システム導入について



民間事業者への市の事業の委託について

**Q** 2003年の法改正により、市民サービスの向上などを目的に、指定管理者制度を採用してきたが、指定管理期間はこれでいいの。人件費の高騰が業務の質の低下を招くようなことはないのか。さまざまな課題をどう考えるのか。

**A** 原則5年としている指定管理期間の柔軟な運用も必要と考えている。その他、他市の状況を調査、研究していきたい。

三条市の移住促進策と定住促進策の現状と課題について

**Q** この施策の費用対効果を考えたとき、成功しているのか疑問もある。外から入ってくる人たちに支援があり、住んでいる人たちにないことは、人口増につながるのか。

**A** 一定の効果は表れている。これから三条で暮らしたいと思ってもらうことが人口増につながると思う。

**Q** 国が運用指針を見直したので、大阪府四條畷市は、令和6年12月執行の市長選挙および市議会議員補欠選挙で、全国で8年ぶりに電子投票を実施した。無効票や案分票を解消し、開票作業に従事する職員を大幅に削減できる電子投票システムを、三条市で導入しないのか。

**A** 数々のメリットはあるが、システム導入、維持に費用がかかる上、国政選挙では認められていないので、現在は導入する段階にはない。

**Q** 法令が変わり、国政選挙への導入が認められたらどうするのか。

**A** 今後すべての選挙において投票システムの実施が可能となった際には、システムの導入に係る経費なども踏まえながら検討していく。

県医師会応急診療所の建物外の大行列の改善について

**Q** インフルエンザがまん延すると、日曜日や休日、診療の受け付け待ちの人が建物外まで大行列になる。この診療所は、関係自治体が分担して、施設を建設した経緯があるので、大行列を解消するシステムを関係自治体で設置すべきではないか。

**A** 県医師会応急診療所の待ち合いに関しては、四医師会の代表医師



会である三条市医師会に状況を伝え  
た。経営主体において検討されるもの  
と考える。



県央医師会応急診療所

### 武石栄二議員の質問

#### 少子化に伴う小学校の統廃合等

**Q** したでの郷未来の学校設置準備委員会の進捗状況等について

**A** 統合時期は令和10年4月開校予定とし、今後、個別具体の項目について検討したい。

**Q** 少子化の進行に対する全市的検討について

**A** 9年度に検討を再開し、小学校だけでなく、中学校の在り方等も保

#### 熊による人身被害防止対策

**Q** 熊目撃や痕跡情報がメール配信された後、熊がまだいるかどうかの結果の情報配信がないため、外に出ていのか分からないという市民の声があった。結果の配信はしていないのか。

**A** 熊がいないことが確認された旨を記載する等、今後は丁寧な情報発信に努める。

**Q** 根本的な対策として、柿の木伐採を市の主導で行う等、熊出没要因そのものの除去を行わないのか。

**A** 空き家や高齢世帯等の伐採が困難で、地域で対応する場合の支援を用意している。



鶴田、北入蔵、西潟等、山からかなり離れた場所でも熊の出没が相次いでいる

護者や地域の皆さまの考えを聞きたい。

**Q** 小学校の跡地利用について

**A** 災害時の避難所として機能している。当該校舎の立地なども踏まえ、全庁的な施策の視点で検討していく。

#### 八十里越開通を見据え、観光等を含めた交流人口拡大に向けた持続可能な取り組み

**Q** 大谷ダム、笠堀ダム周辺について遊歩道や資料館などを含め、魅力的な場所だが、県所管施設のため、県と連携する中で今後の活用について模索したい。

**Q** 足湯の設置が持続可能な交流人口の増加の一助になるのではないかと。

**A** 市場のニーズ、湯量の確保等を念頭に置きつつ、サウンディング型市場調査の参加事業者と意見交換しながら設置の可能性について検討したい。

#### 森林環境譲与税

**Q** 三条市に交付された2674万6000円の活用と実態はどうか。

**A** 森林組合が行う森林整備を支援する民有林造林事業、里山環境整備、緩衝帯整備、林道の維持、修繕の経費に

#### 地元消雪組合の持続的維持

**Q** 空き家の増加で構成世帯数が減り、今後維持存続できず解散する組合が出てくる想定はしているか。

**A** 想定している。

**Q** 消雪組合連合的なものをつくり、市で一括管理するべきではないか。

**A** 規模や積立金の有無等、組合により事情がさまざまであり難しいが、将来的には消雪ハイクを一括して市が引き取る状況も想定しなければならない。

### 西村邦明議員の質問

#### 登下校の歩道除雪について

**Q** 小学生の低学年の登校時、除雪を近所のお年寄りが行っていたが、高齢のため今年からできなくなった。これは、市内すべての学区の問題である。通学路の安全確保から除雪をどのように考えているか。現状と課題について伺う。

**A** 市道における歩道除雪は、機械除雪が可能で堆雪場所が確保できる区間を対象に、歩道上の積雪が20センチを上回る場合で実施している。急な積雪により通学路の除雪状況が不十分な場合には、学校や地域、保護者からの

充当している。

### 佐藤和雄議員の質問

#### 地域の集会所の現状と課題

**Q** 地域にある集会所は単なる建物ではなく、地域の人々が自然に顔を合わせ、助け合い、学び合い、支え合う大切な場であり、災害時には避難や情報共有の拠点としても機能する重要な地域資源である。その一方で、老朽化の進行や担い手不足、物価や工事費の上昇により、維持や修繕、更新の負担が地域に重くのしかかっているのが現状である。市としてそれらをどのように把握しているのか。

また、補助金の活用実態や周知状況、補助額は十分か。そして、今後の支援の在り方をどう捉えているか。市の柔軟な対応を望む。

**A** 毎年度の要望調査や自治会長からの相談、アンケート調査や訪問を通じて、施設の老朽化や担い手不足など地域の実情を把握している。補助制度として市の集会所施設建設費等補助金とコミュニティ助成事業があり、多くの自治会に活用されている。また、耐震改修や雪下ろしアンカー設置を補助対象に加えるなど制度の見直しを進めており、今後も地域の声に丁寧に耳を傾け、

#### 三之町病院側の危険な歩道について

**Q** 病院側の歩道は傾斜を付けてあり、大変急な所が幾つもある。雪が積もる時期は最も危ない。近所の人たちは反対側の平らな歩道を歩くようにしている。特にお年寄りや目の不自由な方、足腰に障がいがある方にとっては危険な歩道としか言いようがない。改修はできないのか。

**A** 現状の側溝の改修や歩道、車道幅の見直しで改善できる可能性がある。今後詳細な測量を進めたい。関係する地域の皆さまのご理解とご協力をいただきたい。

### 岡本康佑議員の質問

#### 三条市サンキッズカード事業について

**Q** 子ども3人目からのサービスであるサンキッズカード事業を見直してほしいとか、子ども1人目からサービ

安心して集会所を維持できるよう支援の充実に努めていきたい。

### 竹山嘉一議員の質問

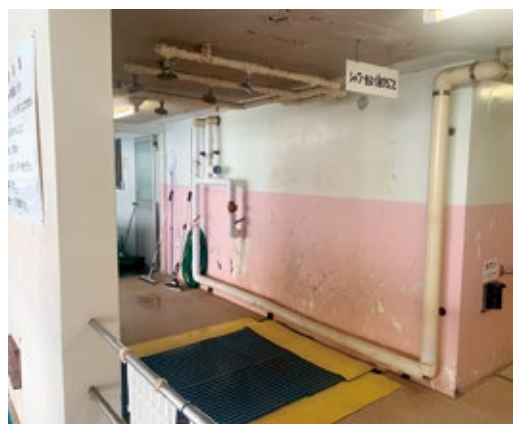
#### ふるさと納税を活用した市民プール建設基金創設

**Q** 市民プールは昭和48年完成でかなり古い。建て替えか廃止かいつ判断するのか。

**A** 遅くとも令和10年度中に判断する。

**Q** 市民プール建設目的でふるさと納税を毎年2億円ずつ積み立ていく等を考えるべき。法的に可能か。

**A** 制度上は可能である。



昭和48年完成で築53年の古さを感じる市民プール

スを受けられるよう改めるべきだという意見はないのか。またこれらの見解はどうか。

**A** 以前より問題意識は抱えていたところである。トークイベントにおいて、参加者からも直接、他市と同様に子ども1人目からサンキッズカードのサービスを受けられるようにしてほしいといった意見があった。

少子化が進行している現代において、子育てしやすい環境の醸成のため、子育て世帯を支援していくことは極めて重要なものと捉えている。

そのため、子ども1人目からを対象にサービスを提供できるよう、目下、サービスそのものを検討しているところであり、新しい子育て応援の仕組みが選ばれるまち三条の実現に向けた魅力の一つとなるよう取り組んでいく。

#### 近隣自治体間の広域連携と県央地域の広域連携等について

**Q** 県央自治体の首長連携をどうしていきたいか。

**A** 現時点では、具体的な会議体等を設置することは考えていないが、しっかりと課題を見つけて把握し、県央5市町村で連携した方がよい場合は、取り組むことも想定している。





藤家 貴之議員の質問

## 地域農業経営基盤強化促進計画について

**Q** 実態と計画のずれをどう検証していくのか。

**A** 地域計画は策定後も継続的に見直すものとし、関係団体と連携しながら実効性の向上を図る。

## 農地中間管理事業について

**Q** 農林課と農業委員会の役割が分かりにくいとの指摘への対応は。

**A** 契約内容が決まっている場合は農林課、新たな借り手探し等は農業委員会が対応。今後も丁寧な窓口対応と周知に努める。

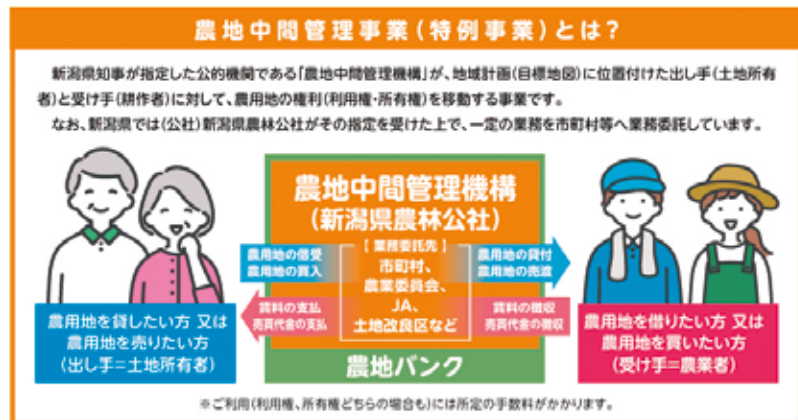
**Q** 農家に相手探しや調整の負担が生じている現状をどう考えるか。

**A** 制度設計と現状に乖離があることは認識しており、地域計画の見直しと農地中間管理事業の活用を並行して進めていく。

**Q** 今後、契約更新の集中などで事務量の増加が見込まれる中、市の体制は十分か。

**A** どのような体制を整備すべきか、

人員体制も含め検討していく。



農地中間管理事業リーフレットより抜粋

## 八十里越開通に伴う下田地域の受け皿整備と広域連携について

**Q** 開通後、地域に確実に消費を生み出す仕組みをどう構築するのか。

**A** 周遊ルートや体験プログラムの整備、事業者向けセミナー、広域連携等を進め、地域に人と消費を呼び込む取り組みを行っている。



常任委員会

## 審査レポート

詳しく議案を審査します！

## 海外留学奨学金の年齢要件を満25歳から満30歳に拡充

10議第 三條市諸橋轍次博士奨学金条例の一部改正について

**Q** 海外留学奨学金の年齢要件を満25歳から満30歳に拡充することだが、制度設計当初、対象者をどのように想定していたのか。

**A** 当初、4年生大学を卒業し、学位の取得を目指して留学する20代前半から半ばにかけての人を想定していたが、具体の相談において、社会人の学び直しのための留学といったニーズが強いことから、改正を提案するもの。



付託された議案のうち、議第2号および議第10号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

34議第 令和7年度 三條市一般会計補正予算

**Q** 学校給食調理場運営費について、米の価格は今後も安くなることはないと思われるが、どのような影響が考えられるか。

**A** 米の価格のほか、副食材料も各品目の値上げが続いている。献立や仕入れ先の見直しなどの工夫を凝らしているが、その努力も限界を超えてきているため、国で議論されている給食無償化の動向を注視しつつ、給食の単価については令和8年度予算編成の中で精査する。

**Q** 熊対策に係るスクールバスの臨時運行について、自宅からスクールバスの停留所までの安全対策は考えているのか。

**A** 保護者や地域の人の協力に加え、学校や教育委員会の職員によるパトロール、熊の忌避剤の活用など、可能な限りの安全確保に努めている。

**Q** 開通記念事業や開通日の公表について伺う。

**A** 国、県と協議しながら進める。開通時期の具体化について引き続き働き掛けていく。



小林 誠議員の質問

## 鳥獣被害の実態と対策について

**Q** 全国で熊の出没が相次ぎ、人身被害も過去最悪だ。三條市における今年の出没件数は139件で令和元年の85件を上回る過去最高だ。これまで、熊は箱など駆除、猿には防護網やモンキードックなどの対策をしてきた。効果はどうだったのか、また、今後の対策はどうか。

**A** 電気柵は、猿やイノシシの侵入対策に効果がある。イノシシに対するくくりわなは捕獲頭数が伸びており、現在も活用している。これらのほか、地域の追い払い活動、緩衝帯整備、柿等の誘因物の除去等を進めていく。

**Q** 鳥獣対策による被害軽減のため、継続的な職員配置が必要ではないか。

**A** 現時点では熊出沒などの対応が最優先。いったん落ち着いたらところで検討したい。

## 市民球場スコアボードをLED化 多様な情報発信が可能に

28議第 三條市立図書館、三條市歴史民俗産業資料館及び三條市諸橋博士漢学の里の指定管理者の指定について

**Q** 図書館等複合施設内の飲食事業者は指定管理者が選定しているとのことだが、公共性や公平性はどのように担保しているのか。

**A** 行政にはないアイデアや市民目線での取り組みを生かすために指定管理者制度を導入している。飲食事業の出店者は指定管理者が選定しているが、利用対象者や値段設定などの内容については事前に相談があるため、一定の公共性や公平性は担保されていると捉えている。

33議第 三條市総合運動公園市民球場スコアボード改修工事請負契約の締結について

**Q** 多機能な設備を整備するのだから、イベント等でも広く活用すべきではないか。

**A** 野球が利用の中心になると思うが、新たな機能について周知し、近隣



2025三條市クマ出沒マップ

## 下田地域の過疎化について

**Q** 「年々世帯が減って先が真っ暗」、「あと十数年で何世帯残ることか。除雪もしつかりして道路も良くなったのになぜだ」との声が寄せられた。過疎化が進む中、鳥獣被害の対応の観点も含めた対策が急務ではないか。

**A** 過疎化の進行と野生鳥獣の出没や被害の拡大は密接に関係していると認識している。より効果的な鳥獣対策の研究と実践にも取り組み、豊かな自然に恵まれた魅力ある下田地域の維持、発展を支えていきたい。

市民福祉常任委員会  
馬場 博文委員長

34議第 令和7年度 三條市一般会計補正予算

**Q** 带状疱疹ワクチンの予防接種に係る費用を増額することについて、接種者数増加の要因をどう捉えているか。

**A** 近年、テレビ等でワクチン接種のPRや罹患者の声を聞くこともあり、想定よりも接種者数が多くなったと捉えている。また、今年度末で終了する接種費用への助成について周知を行う予定であるため、その駆け込み需要もあると考え、補正予算案を提出した。



付託された議案のうち、議第33号および議第34号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。



## いい湯らていの指定管理者に 株式会社下田郷開発を指定

経済建設常任委員会  
白鳥 賢 委員長

**17号 議第**  
八木ヶ鼻温泉保養交流施設の  
指定管理者の指定について

**Q** 引き続き下田郷開発を指定することについて、市は今も経営支援金を支出している。経営改善の兆しは見られないが、問題ないか。

**A** できる限りの経営改善を行ってきた。黒字転換に至るほどの改善は見込めていないが、いい湯らていに限らず、すべての公共施設が物価高騰等の影響を受けていることも含めて一定の評価をし、判断した。

**34号 議第**  
令和7年度  
三条市一般会計補正予算

**Q** ふるさと三条応援寄附金推進事業費について、10月からポイント付与が禁止されたことで、ポータルサイトの運営事業者が負担していた経費が減り、市の費用負担も減ったなどの影響はないか。

**A** ポータルサイトは、寄附件数に応じて手数料が発生する。今回の制度変更で費用負担が減ったということはない。

**38号 議第**  
令和7年度  
三条市一般会計補正予算

**Q** 県の補助金を活用して熊の捕獲を行うことについて、補助金がなくとも、早期に予算措置を講じ、対応すべきではなかったか。

**A** 緊急性を認識し、おりの設置や鳥獣被害対策実施隊員の活動など、予算を流用しながら迅速に対応してきた。



付託された議案のうち、議第17号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

## 議 会 日 誌

12月

- 1日 本会議〔提案説明〕
- 2日 本会議〔大綱質疑～委員会付託〕
- 3日 本会議〔一般質問〕
- 4日 本会議〔一般質問〕  
議会運営委員会
- 5日 本会議〔一般質問〕  
議会報編集委員会
- 8日 市民福祉常任委員会  
市民福祉常任委員協議会
- 9日 経済建設常任委員会
- 10日 総務文教常任委員会  
総務文教常任委員協議会
- 12日 各派代表者会議  
議会運営委員会
- 15日 本会議〔委員長報告～採決〕
- 26日 議会報編集委員会

## 令和8年3月定例会日程

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 2日(月) 本会議〔施政方針、提案説明〕  | 11日(水) 市民福祉常任委員会     |
| 4日(水) 本会議〔大綱質疑～委員会付託〕 | 12日(木) 市民福祉常任委員会     |
| 5日(木) 本会議〔一般質問〕       | 13日(金) 経済建設常任委員会     |
| 6日(金) 本会議〔一般質問〕       | 16日(月) 経済建設常任委員会     |
| 9日(月) 本会議〔一般質問〕       | 17日(火) 総務文教常任委員会     |
| 10日(火) 本会議〔一般質問〕      | 18日(水) 総務文教常任委員会     |
|                       | 24日(火) 本会議〔委員長報告～採決〕 |

## 編集後記

12月定例会では、「まちやま」や「いい湯らてい」等、皆さまにも身近な施設の指定管理者に関する議案が多く提出され、慎重に審議されました。また、一般質問でも今期最多の議員が登壇し、活発な議論が行われました。身近な課題に寄り添い、小さな一歩でも着実に前進させたいという意思の表れだと考えます。

市議会だよりは、議会と市民をつなぐ架け橋として、情報発信の質の向上と、透明性のある編集を目指します。開かれた議会づくりのため、編集委員一同歩んでまいり所存ですので、引き続きのご愛読のほどよろしくお願いいたします。

議会報  
編集  
委員会

委員長 岡本康佑

副委員長 内山信一

竹山嘉一 藤家貴之 坂井良永

燕 幸男 長橋一弘

発行/三条市議会 編集/議会報編集委員会

責任者/議長 森山 昭

三条市議会事務局 電話:0256-34-5583 Fax:0256-33-8861

<https://www.city.sanjo.niigata.jp/>

E-mail:gikaij@city.sanjo.niigata.jp



この印刷物は、植物油インクと再生紙を使用しています。